

## Case Study 2

# 江崎工業株式会社

## 災害に強いサプライヤーを目指して

### Data

対象事業 : 栃木第二工場

対象リスク : 事業の製品供給維持

被災シナリオ : 中核事業の業務プロセスエリアにおいて、  
平日夕方 6 時、震度 6 弱の地震発生

事業継続策 : モノ (施設・設備・原材料) の確保

ヒト (物流・取引先・インフラ・人) の確保



企業名 江崎工業株式会社

代表者名 江崎 敏治

### Q 御社の事業内容は？

自動車・産業用エンジンパイプ製品の設計及び切断・成形・曲げ・溶接加工等による一貫生産を行う企業です。

### Q 今回 BCP 策定に取り組まれた理由を教えてください。

大規模地震等、いかなる有事に見舞われても、利益の源泉である優先順位の高い重要業務の継続・目標時間内の復旧を目指し、事業活動が停止することのないよう組織体制の存続を図り、顧客への安定した製品供給を通してシェアの維持・向上を図るためです。

### Q 策定した BCP の主な内容 (ポイント) を教えてください。

基本方針として「1.従業員及びその家族の安全を守る 2.顧客からの信用を守る 3.従業員の雇用の確保」の3点を挙げました。その他、緊急時対応体制や教育訓練を決めることにより事業再開に向けての体制を整えました。

### Q BCP 策定によって得られた気づきがありましたか？

災害対策本部・事業継続担当 (班)・災害担当 (班) の役割分担を明確にし、復旧に努めてもらうメンバー が決定できました。

災害発生当日は、停電・通信網遮断等から行動が大きく制限されることが予想されますが、速や

かな電気、及び通信網回復により、事業再開に向けた活動を確立していきます。

### Q 今後の課題と方向性について教えてください。

事業を中断させないためのリスク対策、守るべき事業、業務、経営資源について、再検討していきます。

従業員や社外の関係者にわかりやすく伝えるよう文書類の見直しを継続していきます。

### Q BCP を策定した感想をお願いします。

企業にとって大切なもの、人の命や経営資源、会社の信頼を守るために、より実効性の高い BCP にチャレンジし、災害に強いサプライヤーを目指します。

今回、BCP 策定支援セミナーの開催にご尽力いただきました関係各位に、感謝申し上げます。

商号	江崎工業株式会社
本社所在地	東京都大田区大森北 1-1-10 大森シティビル 9F
設立	1950 年 11 月
資本金	2,500 万円
従業員数	190 名
代表者	江崎 敏治
事業内容	自動車・産業エンジン用 パイプ製品の製造
URL	<a href="http://www.ezaki.co.jp">http://www.ezaki.co.jp</a>